

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<p>以下1年次におけるプロジェクト目標が達成された。 ホスピタリティ・介護職業訓練センター建設が2019年9月30日に完了した。トレーナー2名のトレーナー養成講座も2020年2月13日に終了し、修了テストでは2名とも70点以上の得点で、合格した。</p> <p>これらの1年次のプロジェクト目標達成により、上位目標である「地方の女性・青年の生計が向上し、経済的自立が促進され、貧困から脱することができる」の基盤が整い、2年次以降に全国から20名の学生を受け入れる準備が整った。</p> <p>1年次：ホスピタリティ・介護職業訓練実センターの建設とトレーナーの養成により、訓練実施の準備が整う。 3年間：ホスピタリティ・介護職業訓練実施により、訓練修了生の就業・就職が促進される。</p>
(2) 事業内容	<p>1. 施設建設・設備整備</p> <p>1-1. 施設建設 首都ビエンチャンナーサイトン郡教育スポーツ課 (Naxaythong District Education and Sports Office 以下、NXT) 敷地内に2階建ての訓練センターが建設された。</p> <p>1-2. 機材搬入 訓練で使用される機材を搬入した。</p> <p>2. 職業訓練トレーナーの養成</p> <p>2-1. トレーナー養成初級・中級コース NXTにトレーナー2名を養成した。2019年11月に初級コース(ホスピタリティ課程)、2020年2月に中級コース(介護課程)を修了した。 訓練内容は以下である。 <u>ホスピタリティ課程</u> 第1章：ホスピタリティ概論、第2章：ハウスキーピング、第3章：チェックインとチェックアウト、第4章：レストランサービス、第5章：洗濯・アイロン技術と裁縫技術、第6章：外出のつきそい、第7章：トラブル対応、第8章：履歴書の書き方、第9章：初級英語、第10章：インターンシップ、第11章：2年次に使用する指導書作成 第1章から第7章と第10章はビエンチャン市内の Somerset Hotel にて同ホテルの職員から、第5章は Kotobukiya Cleaning の職員から指導を受けた。</p> <p><u>介護課程</u> 第1章：高齢者介護概論、第2章：高齢者・障害者体験、第3章：高齢者・障害者への理解と接し方、第4章：身体介助、第5章：食事介助、第6章：高齢者の栄養、第7章：清潔介助、第8章：応急処置、第9章：責任感とリスク回避、第10章：基礎英会話Ⅱ、第11章：スタディーツアー、第12章：インターンシップ、第13章：2年次に使用する指導書作成、 全章、タイから看護師を招へいし、指導を受けた。</p> <p>3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施</p> <p>3-1. 訓練生募集(第1期生) 2年次に行う第1期生の生徒募集説明会・面接を NXT と6県地区の各教育局とともにいった。</p>

	<p>3-3. 訓練修了生の就職・就業支援とモニタリング サマーセットホテル、ラオスホテル・レストラン協会と卒業生の就職について協議した。</p> <p>4. 訓練主家ジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成 4-1. 訓練スケジュール表・指導書 2年次で使用する指導書をそれぞれのコースで作成した。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>1. 施設建設・設備整備 1-1. 施設建設と1-2. 機材搬入 当会および、首都ビエンチャン教育スポーツ局 (Vientiane Capital Education and Sports Department 以下、VED)、NXT と施工主による立ち合いの元、NXT に職業訓練センターが建設されたこと、および職業訓練に必要な設備・機材も導入されたことを確認した。また、職業訓練の実施および宿泊を通じて、2年次以降の職業訓練コースが不都合・不足なく実施できることを確認した。</p> <p>2. 職業訓練トレーナーの養成 2-1. トレーナー養成初級・中級コース NXT のホスピタリティ・介護トレーナー候補2名がトレーナー養成初級・中級コースをそれぞれ70点（100点満点中）で修了テストを終え、トレーナーとなった。</p> <p>3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施 3-1. 訓練生募集（第1期生） 2年次に行う第1期生の生徒募集説明会・面接をNXT と6県地区の各教育局とともにに行い、応募者のプロフィール書類、電話と対面インタビュー、村からの身元保証書および貧困証明書をもとに2020年2月末日現在で18名（定員20名）の生徒を決定した。設定していた指標20名には到達しなかったが、各生徒に対してよりきめ細かい指導が実施できることが期待される。</p> <p>4. 訓練スケジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成 4-1. 訓練スケジュール表・指導書 ホスピタリティ課程、介護課程、両課程で作られた指導書ドラフト2がともにVEDから承認を受け、2年次からの使用を認められた。</p> <p>★「持続可能な開発目標(SDGs)に該当する目標における成果の視点</p> <p>—ターゲット1. 1 第1期の訓練生（18名）は、貧困証明書を有するものであり、彼らを2年次に職業訓練することで、訓練生とその家族が貧困から脱出する可能性をあたえる。</p> <p>—ターゲット4. 3と4. 5 第1期の訓練生（18名）に男女・学歴の区別なく、また少数民族であっても、質の高い職業教育を2年次に提供する。</p> <p>—ターゲット8. 6 第1期の訓練生（18名）の多くが地方に住みフォーマル職業教育や就労を受ける機会がなかったが、2年次からの訓練で職業訓練を受ける機会、かつ就労の機会を得ることができる。</p>

<p>(4) 持続発展性</p>	<p>1. 施設建設・設備整備 当会とカウンターパートナーである VED と NXT と事業終了後の訓練施設・設備のハンドオーバーについて協議し、事業終了時に譲渡合意文章を交わすこととなった。</p> <p>2. 職業訓練トレーナーの養成 養成された NXT のトレーナー 2 名が、事業終了後も訓練コースを実施運営する。また、この 2 名以外にも、3 年時に実施する ToT トレーニングを通じて、訓練終了生や NXT 職員の中から予備トレーナー（6 から 10 名）を養成する。</p> <p>3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施 地方教育局と生徒募集体制を確立し、事業実施を通して本訓練事業を広報することで、事業終了後も訓練生数を確保できるようにする。訓練センター及び訓練コースは、NXT コーディネーターにより運営され、NXT トレーナーが実際の訓練生指導を実施する。</p> <p>4. 訓練スケジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成 作成された訓練スケジュール表・指導書及び施設管理マニュアルは、事業終了後は NXT コーディネーターが管理する。訓練スケジュールと指導書に沿って NXT トレーナーが訓練を実施する。</p> <p>5. 訓練センター及び訓練コース運営費の申請 本事業では訓練生より授業料は徴収せず、事業終了後の訓練センターおよび訓練コースの持続運営のために、NXT コーディネーターがラオス政府に対して、予算申請を行う。 加えて、この事業のために当会が新設した「チャンパー山の民奨学金」制度を継続し、側面より支援する。</p>
------------------	--